



星槎国際立川親の会主催

イラスト 星槎国際立川2年 A.T.さん

生徒活動活性化プロジェクト2019

星槎国際立川の親の会《ぼらりす・アリエス》が、授業、ゼミ、部活動・同好会など・学校での活動をより有意義にするために、費用(一部)を応援するプロジェクト。ここから、夢が始まります!!

応募 10/4[金]×切	プレゼン 10/12[土]開催	贈呈式 10/27[日]文化祭
------------------------	---------------------------	---------------------------

- 応募枠** 個人(1人) / グループ(2~5人) / 団体(6人以上)
- 支援費** 個人:1万円 / グループ・団体:3万円
*支援額はあくまでも上限です。実際は内容を見極めたうえで、活動後、提出した報告書を元に精算されます(事後精算)。
- 選抜方法** プレゼン後、保護者による選考会を行います。
- 応募目的** 学校生活、活動を有意義にするために必要とされる費用
[応募例・実績] 大きいサイズのユニフォーム(バレー部)、水鳥シャトル(バドミントン部)、外出企画切符代の援助(鉄道研究部)、アカウント登録費(マイクラフト同好会)、サンドバック(フィットネス同好会)、「星槎国際立川」名の入った名札(ベスト) ※地域活動参加時に着用(地域・企業ゼミ)、路上ライブ用スピーカー(軽音楽部)、生徒親睦会費用の援助(生徒会)など...
- 応募方法** 2019.10.4[金]までに、別紙の企画書を職員室へ提出。応募する場合は企画書を職員室に取りに来てください。

周りに背中を押してもらった自分が、次は、誰かの背中を押す自分に。このプロジェクトが一役買ったひとつの物語が、新聞に掲載されました。

廊下の「居場所」で成功体験

星槎国際高校立川学習センター

輝く教育

ブロックを積み上げて建築物や街を作る「マイクラフト」(マイクラ)というオンラインゲームがある。川崎市の高1、吉田柊羽さん(16)は小5の時、友だちの家でやって夢中になった。マイクラの世界で生きているような気持ちになり、中1の夏休み後は、学校に行かなくなった。不登校の生徒らが通う同市の適応指導教室に通っていたが、中2の冬から、立川市の通信制高校「星槎国際高校立川学習センター」のフリースクールに通い始めた。最初は教室に入れず、誰も話をしなかったが、学校側は職員室で先生の隣の机でマイクラをやることを認めた。「まずは学校に通えるようになることを大事にした」と話す山下峻(センター長32)は、好きなゲームを否定せず、「出来ることから取り組む」教

育支援計画を作った。この学校では、廊下の壁に向かっている机が置いてあり、ほかの生徒と顔を合わせずに、安心して勉強や本を読むことができる。吉田さんは次第に職員室から出て、廊下の机でマイクラだけでなく、勉強もするようになった。廊下ならば、話したくなければ自然に声をかけ合えず、マイクラを語り合える友だちができた。中3になって、先生が「同好会を作らないか」と持ちかけた。最初は2人で始めたが、居場所が出来た喜びが大きかった。次第に人数も増えた。学校では毎年10月、部活や同好会の活動費を集めるための「生徒活動活性化プロジェクト」というイベントがある。マイクラを本格的に楽しむためには、3千円の有料アカウントが必要だ。吉田さんは昨年、保護者や先生の前でマイクラの面白さを伝え、活動費を求めた。吉田さんは大勢の前で堂々と訴えた。「僕はマイクラのおかげで友だちが出来ました。僕はマイクラを通して、人助けがしたいんです。大きな拍手が起きます。投票結果は断トツの1位。お願いした通り、10万円の活動費が支給された。

吉田さんは現在、週5日学校に通い、教室で授業を受けている。学校説明会では、マイクラ体験教室を取り仕切る。山下センター長は「小さな成功体験を積み重ねて認められると、心に余裕ができる。面談を繰り返しながら、できることを探せば、必ず変わっていく」と語る。(平岡妙子)

掲載済み記事はこちらから
これまで掲載した「変わる進学」は、<http://t.asahi.com/p2zx>から、「凸凹の輝く教育」は、<http://t.asahi.com/pwcf>からご覧になれます。

◆教育に関する情報 asahi.comへ